

山の日情報

(第 25 号)

令和2年 7月 2日

秋田県生活環境部
自然保護課

【活動記録】

6月22日に大館市の田代岳登山道において、今年1回目のボランティアによる整備作業を行いました。

田代岳といえば頂上に田代神社がありますが、夏至から数えて11日目に当たる「半夏生（はんげしょう）」の日には、9合目の湿原においてその年の稲作の豊凶が占われます。

湿原に点在する小さな池のような池塘（ちとう）を水田に、池塘に生えるミツガシワという植物を稲に見立て、その生育状況から占います。

今回の作業の目的は、「半夏生」の日に行われる作占いに先立って登山道をきれいにしておこうというもので、田代岳を愛する会の方々など6名で行いました。人数は少ないですが、田代岳をよく知る大ベテランたちによる陣容です。

メンバーは大広手コースから作業を行うグループと、上荒沢コースから作業を行うグループに分かれ、筆者は上荒沢コースのグループに入り、5合目付近から作業を行いました。

登山道は場所により背の高いササなどが茂り、ところどころがヤブ化している状態です。そうしたところの草を刈り、刈った草は脇に寄せていきます。見通しが良くなることで、道迷いを防ぐことにもつながります。

また、ごみの投棄がないかもチェックを行いました。嬉しいことに目立ったごみは見つかりませんでした。登山道の見通しを良くすることで、ごみが捨てられにくい環境となることも期待されます。

このほか、今春は例年になく倒木や枝折れが多かったことから、それらの片付けも併せて行いました。作業は難航しましたが、登山道ですれ違う方々からは応援の言葉もいただき、大変励みになりました。



↑ 9合目湿原の池塘



↑ 刈払い作業の様子



↑ 作業後の登山道の様子

最終的にこの日は、7合目を過ぎた辺りまで作業を行い、タイムアップとなりました。

下山していくと、大広手コースで作業したメンバーが途中で待っていてくれ、笑顔で出迎えてくれました。ここで作業の記念に集合写真を撮影。その後、5合目の分岐で解散となりました。

なお、田代岳を愛する会の方々は、別の日にも作業を予定しており、荒沢コースなど残りの部分を整備してくれています。



↑作業を終えたメンバー

私たちは快適な暮らしに慣れてしまっており、自然豊かなところに遊びに行った際も、ついつい、きれいに整備されているのが当たり前だと思ってしまう。

しかし、登山道など自然の中の施設は、人の手が入らなければ伸びた草木により荒れ放題になってしまいますし、もしかするとごみが捨てられてしまうかもしれません。

私たちが豊かな自然を安心して楽しむことができるのも、今回のような整備作業を行ってくださっている方々のおかげです。山の中の整備は、作業場所までの移動時間も長い上、作業道具を持って登るため、なかなか大変な作業です。

これから登山道を歩くことがあれば、ぜひ、そうした方々の存在にも思いを馳せてみてください。

今年も、このボランティア事業はこれから9月にかけて行っていく予定です。その様子はこの「山の日情報」で随時紹介していきますので、お楽しみに。